

平成29年度 西部地域高齢者支援センター活動 最終評価

重点項目	事業内容	実施計画	上半期実績	中間評価	年間実績	来年度への課題
自立を目指すケアマネジメントの実施	介護予防	パンフレットを活用した市民への説明や啓発の実施	43回520名に「7つのポイント」チラシを配布	概ね計画どおりに実施中個別ケース対応時にも配布し、介護予防啓発に努めている	下半期20回516名、年間63回1036名に「7つのポイント」チラシを配布	継続して実施
	総合事業の周知	いきいき百歳体操会場やサロン、宅老など住民が集う場での説明会の開催	13回261名に総合事業の説明を実施	概ね計画どおりに実施中	下半期6回64名、年間19回325名に総合事業の説明を実施	総合事業の周知とともに、地域の支え合い活動等、多様な支援体制に関する啓発を実施
	居宅のプラン点検	地域内より任意に抽出した事業所を訪問しプラン点検と実地指導の実施	11～12月に実施中	11～12月に実施中	7件(支援センターあさくら、神田、あかり、絆、山村、ふくいの居宅、Lib)	継続して実施
地域ケア会議の実施	高齢者の個別課題解決及びケアマネジメント実践力の向上	定期開催 ケアマネジメント研修(地域ケア会議)の開催(年10回)	6月より毎月実施	個別課題、ケアマネジメント力の向上、地域課題の把握につながっている	10回開催。地区民生委員や医療機関関係者、介護保険サービス事業所職員、市社協等の参加があった	地域課題を整理し、社会資源や支援体制の構築につなげる
		随時開催 対応困難ケースや多問題のケースについては随時地域ケア会議を開催	見える事例検討会方式で3回実施	概ね計画どおりに実施中	見える事例検討会方式で年間4回実施	継続して実施
	地域課題解決に向けた検討	個別事例から出された未解決の課題を集約し、それを解決するための話し合いの場づくりを行う	未実施	下半期に実施予定	個別の支援策の検討は実施できているが、集約した課題の検討は未実施	社会資源開発や支援体制構築等の具体的活動への展開
地域づくり	住民主体介護予防への支援	いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操会場の開催支援、継続支援	継続支援として、70か所の会場に延118回の訪問を実施	概ね計画どおりに実施中	下半期59か所の会場に延151回、年間129か所269回継続支援	「いきいき百歳体操会場運営支援事業」の活用
		空白地域への新規体操会場の立ち上げ(5か所)	小規模多機能サイト、フジグラン朝倉、針木しゃきしゃき会、グループホームつくしの里の4か所に新規立ち上げ	概ね計画どおりに実施中	有料老人ホームあさくらの里、みかづき公民館、初月ふれあいセンターの3か所に新規立ち上げ年間計7か所開設	継続して実施
	高齢者の介護予防と生きがいがづくり	旭オンリーワン芸術祭、鴨田演芸大会等、高齢者が特技を発揮する機会の開催支援	各種行事等で介護予防の啓発と相談機関の周知を実施した	行事協力が、出張所の周知や関係機関との協力体制づくりにつながっている	旭オンリーワン芸術祭、鴨田演芸大会等の実施やサロン開催支援を3か所実施	日常生活を活動的にする場(サロン等)の開発と継続支援 地域包括ケアシステムの理念の普及
		わかくさ夏祭り、元町夏祭り等地域での活動へ参加し、市民へ介護予防の啓発を行う	わかくさ納涼祭、元町秋葉夏祭り、ピアハウス高知さつき祭り等で介護予防啓発を実施*みかづきふれあい愛フェアは下半期開催	介護予防啓発だけでなく、地区組織とのネットワーク形成の機会となっている	わかくさ納涼祭、元町秋葉夏祭り、ピアハウス高知さつき祭り、みかづき地区防災連合会等にて介護予防啓発を実施	効果的な介護予防啓発の実施
	住民同士の支えあいの推進	地域ケア会議で出された地域課題の抽出と課題解決に向けた話し合いの場づくり	未実施	下半期で実施予定	課題解決に向けた具体策を検討するまでには至らなかった	住民に身近な圏域で、分野を超えた課題を検討できるような体制づくりを検討
		支えあいマップづくりの実施(1～2か所)	医療生協のマップづくりに協力参加はしているが、センター・出張所主導でのマップづくりは未実施	下半期で実施予定	口細山公民館、鏡川町の2か所でマップづくり。	マップづくりを通じた、地域課題の整理と社会資源の開発、支援体制の構築
認知症の初期の段階からの支援	認知症初期集中支援チームの活用	チーム員へ出席と事例提出	会議出席:あさくら、かもだ、かがみ 事例提供:あさくら2件、かもだ2件	チーム利用が定着しつつある	チームへの対応依頼13件(内10件は在宅継続)	直営チームの運営
	認知症の理解と啓発	パンフレットを活用した市民への啓発	公民館や敬老会、鏡小の学習会等5か所で670人に啓発 民協5か所で初期集中支援事業の説明	概ね計画どおりに実施中	下半期は8か所209名に実施、年間13か所879名に啓発	継続して実施 高知市版認知症ケアパスの活用
		認知症サポーター養成講座の開催、講座受講者の中で何かやりたいと思っている人の発掘と活動への繋ぎ	認知症サポーター養成講座を13回開催 受講後、認知症カフェや学習会で協力参加につながった事例あり スキルアップ研修に参加	概ね計画どおりに実施中	認知症サポーター養成講座を下半期は7回開催、年間計20回開催 学校関係:初月小2年生全学年に実施。鏡小・中に認知症学習会の開催。	継続して実施
	認知症カフェ支援	新規開催支援(助成金の情報提供、地域の状況の把握、企画等)	新規開催支援は情報提供を1件実施のみ	新規開設希望があれば対応	新規開催支援なし	みかづき地区のみ開催なし
継続支援		えいと、とりごえ、つくし、よつ葉、えびす、梅ちゃん、領家げんき、かがみ笑顔、りんりんの計9か所開催。	概ね計画どおりに実施中	9か所の認知症カフェにて介護相談等による運営サポートの実施	継続して実施	
高齢者の権利擁護と虐待予防	市民への啓発	パンフレットを活用した市民への啓発	認知症サポーター養成講座開催時等に啓発を実施のほか、民協5か所で予防パンフレットを配布し、説明計:本店170人分室76人	予防パンフレットを活用し、効果的な啓発が実施できている	年間計:本店213人、分室76人	専門職向けパンフレットの活用
	関係機関との連携	虐待の事例検討会の開催(随時)	見える事例検討会方式で1回開催	必要時実施	見える事例検討会方式で1回開催	継続して実施
		成年後見サポートセンター支援会議、四者会への参加	サポートセンター会議3回、四者会1回参加	継続して実施	サポートセンター会議3回、四者会1回参加	継続して実施
	専門機関介入ネットワーク会議への事例提出	本店1回、分室1回事例提出	提出した事例については、継続支援中	本店1回、分室1回事例提出	継続して実施	